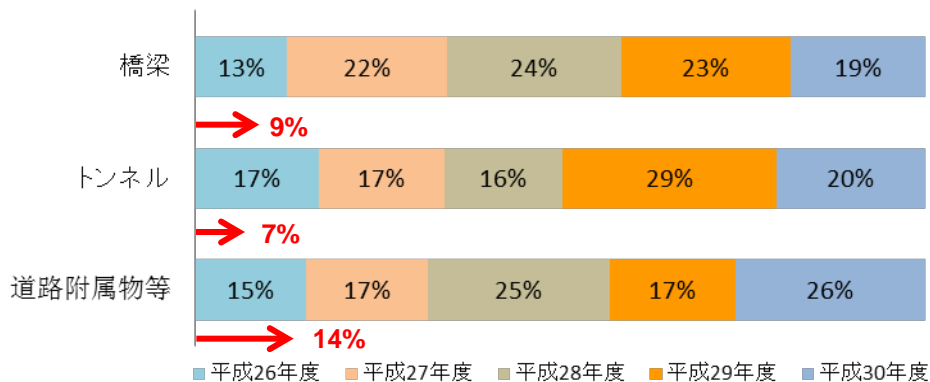


- 昨年7月の省令施行を踏まえ、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定。平成26年度の点検実施率は、橋梁約9%、トンネル約7%、道路附属物等約14%
- 道路管理者によって取組状況が異なる
- 第三者被害の予防並びに路線の重要性の観点から、最優先で点検を推進する橋梁を規定

＜5年間の点検計画と平成26年度の実施状況＞



＜橋梁の点検方針＞

コンクリート片の落下等による第三者被害の予防並びに路線の重要性の観点から、以下については、最優先で点検を推進

- ・ 緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋
- ・ 跨線橋
- ・ 緊急輸送道路を構成する橋梁

＜各構造物の点検実施状況＞

道路施設	管理施設数	H26計画点検数	H26点検実施数	点検実施率
橋梁	46,745	5,869	4,152	9%
トンネル	977	164	64	7%
道路附属物等	1,752	265	251	14%

※ H27.6月末時点

※ 上記の他に、国土交通省及び高速道路会社管理の溝橋（カルバート）がある。（管理施設数、点検実施数は、国土交通省397,34、高速道路会社212,12）

＜橋梁点検状況（管理者別）＞

管理者	管理施設数	H26計画点検数	H26点検実施数	点検実施率
国土交通省	2,269	217	235	10%
高速道路会社	966	242	214	22%
地方公共団体	43,510	5,410	3,703	9%
合計	46,745	5,869	4,152	9%

※ H27.6月末時点